



第二中だより

No. 556

開校53周年

生徒数 424名

令和元年 5月 7日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>

新しい時代を迎えて

校長 橋本 真



四季折々の自然の変化を楽しめる日本。正門前の様々な草花が私たちの心を和ませてくれます。保護者の皆様には、入学式、あいさつ運動、授業参観・保護者会、PTA 総会とご多用の中、ご出席いただき、ありがとうございました。

新年度が始まり、ひと月が過ぎました。各教室を回ると進学・進級をしたという、新たな気持ちで集中して授業に取り組んでいる生徒の姿を見ることができ、嬉しく感じています。

順調な学校生活を送る生徒の姿、生き生きとした表情から良いスタートが切れたと感じています。1年生は、部活動も本入部となり、本格的に活動が始まります。2年生は、学校の中心者としての自覚を持ち、そして、3年生は、部活動では最後の大会に全力を注ぐとともに、進路選択に意識を高めていってください。

季節は、「皐月（さつき）」

学校では、この時期、体育の授業では、「陸上」、「新体カテスト」の真っ最中です。生徒は、トラックを必死に走っています。先生の「何分、何秒!」、「ラスト!」の声、すると周りの生徒から「頑張れ!」、「あと少し!」の声援がたくさんかかります。互いを励ます言葉が、校長室まで心地よく響いてきます。良い光景だなあと、とてもうれしい気持ちになります。良い授業は、先生だけが創るものではなく、生徒の皆さんと創り上げるものだと、改めて実感しました。

その時の出会い

4月19日(金)に、和光第二中学校を離れた先生方の「離任式」がありました。第二中学校の発展に尽力された先生方のお別れの日です。生徒たちは、しっかりした態度で、去られた先生方の話を聞いておりました。また、生徒からの感謝の言葉と花束が贈られ、すばらしい「離任式」になり

ました。多くの人たちとの出会い、関わりの中で、私たちは、生活をし、成長していくものであると思います。転任された先生方の教えを胸に刻み、自分の力を生かし、伸ばす努力を続け、成長した自分の姿を見てもらうことが、感謝の気持ちであると思います。

『聴く』姿勢と態度に磨きをかけよう

4月8日の始業式では、2・3年生の皆さんが初対面の私の講話を真剣な視線で、また、4月17日の学校朝会では、全校生徒の皆さんが、少し暖かな表情で話を聞いてくれました。実に、和光第二中学校の生徒は、人の話を聞く態度が素晴らしいと思います。さて、中学生が日々の生活の中で身に付けるべきこととして、「学力の定着・向上」と「社会性の醸成」が挙げられます。その基礎として「聞くこと」が重要な位置を占めています。「人のことを大切に聞く」ということを意識化することで、コミュニケーション能力を高めることができます。まず、学習面では「解かろうとして聴く」、生活面では「人の思いに寄り添って傾聴する」といった意欲的な態度へと発展させることができます。その習慣化によって学習面の「自他の考えを伝え合う」、生活面の「自己理解・他者理解」の実践へと結びついていきます。そして、この積み重ねが学習の充実や社会性の醸成へと昇華していくと考えられます。話を聴く場面では、たとえば、聞き手が「あいつちを打つ」とか、「身を乗り出す」といった積極的な様子が見られると、話し手にとっても話題をうまく整理しながら意図を表現できます。「自然に耳に聞こえる」の「聞く」ではなく、「聞こうと努力する、耳を傾ける」の「聴く」は、相手に誠実に向き合い、心を込めて相手の話の耳を傾けるということを指しています。こうした態度は、相手の信頼を得て、人間関係も良くなることに、つながります。「聴く」技術をしっかりと身に付けることで、さらに、成長していくものと信じています。

